昭和53年
4月1日号
第146号
発行所　津奈木町役場
編集　総務課
印刷所　旭印刷所

町報 つなぎ

人口と世帯
昭和53年3月1日現在
人口　6,346人
男　3,042人
女　3,304人
世帯　1,667世帯

施政方針

町長　六車孝吉

本日ここに昭和五三年三月定例町議会の開会にあたり所信の一端を申し述べますと共に新年度予算の大綱について御説明申しあげ、町民を代表される議員諸公の御理解と御協力を得たいと思います。

我国経済の混乱と低迷は何時果てるともなく続きまして早急に景気の回復は望むべくもない現況の中で、財政基盤の貧弱な本町町財政の運営は引き続き多大の困難が予想されます。

この様な状況の下にあって、住民福祉を充実し、一層豊かな町づくりの実現を図るためには社会経済の変動に的確に対応しつつ、住民の信頼に応えて、効率的、効果的な行政を進めてゆく必要があるかと思います。

国においては、昭和五二年度補正予算と、引続き昭和五三年度にかけて持続的な景気回復を図るため、いわゆる「十五ケ月予算」の考え方のもとに、公共事業を主とした大型予算を編成し実施されています。

本町におきましても、現下の厳しい財政状況を充分考慮して従来からの大方針である財政の健全性に配慮しながら、国、県支出金、地方債の積極的な活用による財源の確保に努め、産業基盤の整備等公共事業の積極的な推進を図ることといたしました。

本町は、過疎、弱小自治体なるが故に、尚更産業基盤の整備が必要にして、且つ、急務であることは異論の余地がありません。今後色々な建設事業を積極的に推進する一方、予測困難な将来の状況変化に対応するためには、住民との対話或は多数の叡智の結集や発想の転換を図る必要があると思います。

近頃老友会のゲートボールが大変流行しています。うい寛迄留守番の傍ら孫に相手をしていたお年寄りが、毎日玉を追っておられます。この為かわかりませんが近頃健康保険の老人の受診率が下って参りました。と同時に保育園入園希望者の増加が目立っております。町民の心のより所、連帯感を深める所、研修の場としてのコミュニティ施設建設にもっと力を入れるべきでないかと考えます。

昭和五二年度で、町民憩いの場として「城山自然公園」を建設、間もなく完成致しますが、昭和五三年度では町民の休息、研修、連帯感を深める場所として就業改善センター建設に着手致します。青年団婦人会、老友会或は各産業団体、グループの有効な利用をお願い致したいと思います。

コミュニティ建設

干拓地の男島周辺には、総合運動公園を計画致しておりますが、今年度は四〇〇メートルトラックがとれる陸上競技場を建設致します。各種スポーツ振興の場として、町民皆スポーツの実をあげるよう体育諸グループの協力と、町民の利用をお願い致したいと思います。

心身鍛練の場として「城山自然公園」を建設、間もなく完成致しますが、昭和五三年度では町民の休息、研修、連帯感を深める場所として就業改善センター建設に着手致します。青年団婦人会、老友会或は各産業団体、グループの有効な利用をお願い致したいと思います。

コミュニティ建設

干拓地の男島周辺には、総合運動公園を計画致しておりますが、今年度は四〇〇メートルトラックがとれる陸上競技場を建設致します。各種スポーツ振興の場として、町民皆スポーツの実をあげるよう体育諸グループの協力と、町民の利用をお願い致したいと思います。

公共事業体の推進を
予算総額 十一億七千二百五十万円

企業誘致につきましては、低成長下の現在進出を希望する企業は当分の間望めそうもありません。町としては安閑として待つのでなく、誘致のためのあらゆる努力をなしつつ、景気回復の時期を待ちたい思います。

当面申しましても、農業就業センターは、大中集会場、各種研修室、調理場等を備えたもので、総工事一億二千萬円で昭和五四年度当初完成の予定で建設を進めたいと思います。

社会福祉の増進と生活環境の整備は

第二に、社会福祉の増進と生活環境の整備について申し述べます。水俣病対策につきましては、認定業務の促進、チッソの存続等国県に対し強く要望している所であります。

本町の現状では、国県の施策は離かと思われます。国の強力なテコ入れが必要であり、続けて強く国県に対し要請する所存でございます。

社会福祉については、国県の施策、町独自の施策を基本に社会福祉協議会を中心として弱い場の人達に対し、物心両面からの援助を行ってゆきたいと思います。

水資源に乏しい本町にとって、水源深査は欠かせないもので、昨年度国地区のボーリング調査を行ない開発にあたっていますが、五三年度も一ケ所の水源深査を計画致しました。水源の確保ができまして段階で簡易水道の建設を計画致したいと考えております。

小津奈木の屎尿処理場移転については、新しい処理場建設の目途がたたないまま、今月末で閉鎖されることになりました。暫らくの間やむを得ない処置として、海洋投棄を行なう計画であります。将来はやはり適当な場所を選定し、施設を建設する必要があると思います。

ごみ処理につきましては、現在の施設を充分に活用できるよう、内容の分類、収集の合理化について町民の理解と協力を得、環境美化に努めたいと思います。

そのほか美しい町づくりの一環として老友会より千拓堤防に千本桜の寄贈を受け、又城山公園を中心として桜、むくげ等の植樹が行なわれていますが、この善意を町民全部ではぐくみ育てたいものと考えています。

次に教育文化の振興について申述べます。

学校建設は平国小学校を残すだけとなりました。五二年度用地選定と買収を行ないましたが、地元住民の熱意、地権者の方々の御理解と御協力によりまして、極く一部を除き無事終了見込であります。

五三年度は敷地造成主とし、暫定予算を計上致しておりますが、昭和五四年度完成のための努力を傾注して参りたいと思います。

社会教育は、生活水準の向上と併行して心の豊かな間形成のため必要なものであり、生涯教育の一環として各種団体、地域グループ等を主体とした振興に力を注ぎたいと思います。

社会体育は、町民皆スポーツの主旨に添い、各グループの自主的計画に基づき振興を図る必要があるかと思います。干拓地に建設する陸上競技場は、四〇〇メートルトラックと広い駐車場を備えるもので、四千九百萬円余を計上致しました。

尚各校区毎の住民スポーツ振興のため、今年度は赤崎小学校運動場の照明施設を設置致します。

学校給食は、とかく批判もありますが、児童生徒の体位向上に大きな役割を果っていると思われます。

尚各校区毎の住民スポーツ振興のため、今年度は赤崎小学校運動場の照明施設を設置致します。

学校給食は、とかく批判もありますが、児童生徒の体位向上に大きな役割を果っていると思われます。

従来その直接経費については殆んどを父兄負担としていましたが、五二年度より僅かではありますが、燃料費の公費負担を行ない給食内容の充実に向けるように致しました。

産業振興は

第四に産業振興について申述べます。

本町水稲面積は三五ヘクタールで、農業収入では僅か十数の比率を占めるだけですが、全国的な米の生産過剰の余波を受け、五三年度十六ヘクタールの生産調整割当てを受けました。本町では飯米農家が主であり、割当消化には大変な苦労を致しました。休耕農家に対して十アール当り七千円を町と農協で援助致すように致しました。

果樹につきましては引続き、適地選作、優良品種の選定導入、樹種転かん等指導面の充実をはかりたい、そのため指導所の設備について、モデル的な役割を果す必要があるかと思います。

水産は三百海里の問題等世界的な制約を受け、沿岸漁業の見直しが迫れている現状であります。

養殖漁業では、安価な餌料入手の外、赤潮対策が主要な問題であります。この研究には一小自治体の力ではどうにもならないもので、国、県に対し調査研究と強力な指導を強く要望しております。

又沿岸漁業振興のため、魚礁設置は続けて実施し資源の育成に努めの所存でございます。

畜産不振は、早急に解決できるものではありませんが、一歩一歩長期に亘っての問題解決にあたらなければならないと思います。

現在畜産コンサルタントによる各農家の経営診断、経営計画の樹立家畜診療所による保健、衛生面の指導、公害解消を兼ねた尿処理のための保健施設建設等を行っています。

社会福祉協議会への寄附下さいました。町民福祉の為に、有効に利用致したいと思います。

以上が昭和五三年度の主な施策の概要でありますが、今後、制度の改正、効率の高い事業、住民福祉につながる事業等、国県の態勢、町財政の見通しがたつものについては、努めて組入れる様に致す所存でございます。

以上一般会計予算の内容について説明致しました。予算総額は十一億七千二百五十萬円となっております。

特別会計では

国民健康保険事業　三億九千七百六十八萬五千円
簡易水道事業　二千四百三十六萬五千円
農業共済事業　二千八百五十二萬四千円

整備は

第三に、社会福祉の増進と生活環境の整備について申し述べます。

水俣病対策につきましては、認定業務の促進、チッソの存続等国県に対し強く要望している所であります。

本町の現状では、国県の施策は離かと思われます。国の強力なテコ入れが必要であり、続けて強く国県に対し要請する所存でございます。

社会福祉については、国県の施策、町独自の施策を基本に社会福祉協議会を中心として弱い場の人達に対し、物心両面からの援助を行ってゆきたいと思います。

水資源に乏しい本町にとって、水源深査は欠かせないもので、昨年度国地区のボーリング調査を行ない開発にあたっていますが、五三年度も一ケ所の水源深査を計画致しました。水源の確保ができまして段階で簡易水道の建設を計画致したいと考えております。

小津奈木の屎尿処理場移転については、新しい処理場建設の目途がたたないまま、今月末で閉鎖されることになりました。暫らくの間やむを得ない処置として、海洋投棄を行なう計画であります。将来はやはり適当な場所を選定し、施設を建設する必要があると思います。

ごみ処理につきましては、現在の施設を充分に活用できるよう、内容の分類、収集の合理化について町民の理解と協力を得、環境美化に努めたいと思います。

そのほか美しい町づくりの一環として老友会より千拓堤防に千本桜の寄贈を受け、又城山公園を中心として桜、むくげ等の植樹が行なわれていますが、この善意を町民全部ではぐくみ育てたいものと考えています。

次に教育文化の振興について申述べます。

学校建設は平国小学校を残すだけとなりました。五二年度用地選定と買収を行ないましたが、地元住民の熱意、地権者の方々の御理解と御協力によりまして、極く一部を除き無事終了見込であります。

五三年度は敷地造成主とし、暫定予算を計上致しておりますが、昭和五四年度完成のための努力を傾注して参りたいと思います。

社会教育は、生活水準の向上と併行して心の豊かな間形成のため必要なものであり、生涯教育の一環として各種団体、地域グループ等を主体とした振興に力を注ぎたいと思います。

社会体育は、町民皆スポーツの主旨に添い、各グループの自主的計画に基づき振興を図る必要があるかと思います。干拓地に建設する陸上競技場は、四〇〇メートルトラックと広い駐車場を備えるもので、四千九百萬円余を計上致しました